

## 4月以降の国内株式市場と為替相場

資産  
運用

年金  
財政

年金  
制度

その他

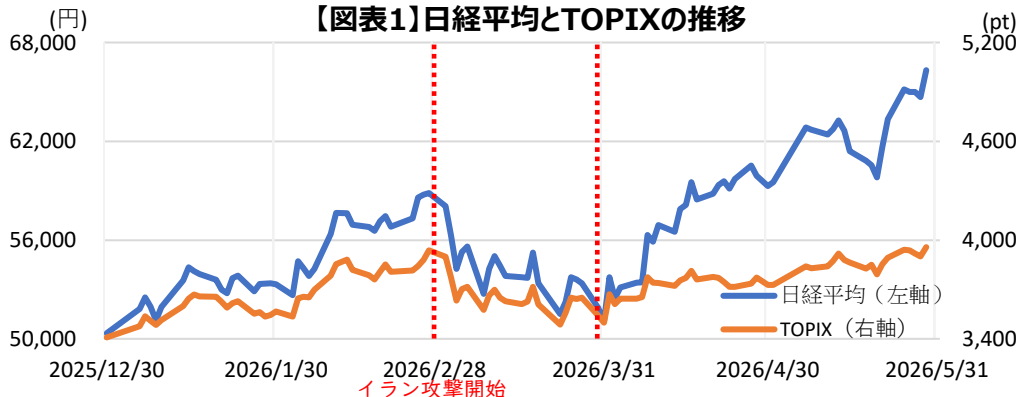
- 国内株式は、米国とイランの停戦協議が進む中でリスク回避のセンチメントが後退し、好業績が見込まれる半導体関連をはじめとした情報技術セクターを中心に、株価の上昇が続いています。  
短期的な過熱感もあり一時的な調整の可能性があるものの、2桁成長が見込まれる堅調な企業業績に加え、企業改革や政府の積極財政を背景に、中期的には底堅い動きを見込みます。
- 円/ドル相場は、原油価格上昇を背景に米ドルが対主要通貨で上昇したことや、4月の日銀金融政策決定会合における政策金利の据置きなどにより円安の動きが進みましたが、160円台では当局による為替介入が実施され、上値は抑えられました。今後は中東情勢の緊張緩和への動きや日米中銀の金融政策の方向性の違いなどにより、緩やかな円高の動きを想定します。

### 国内株式市場は、3月末に底入れし上昇基調を継続

国内株式市場は2月28日の米国によるイラン攻撃開始以降、大きく下落しましたが、3月末に底入れすると足元まで上昇基調が継続しています。米国とイランが一時的な停戦で合意したことによるセンチメントの改善や、IT関連企業を中心として企業業績が好調であることが株価の押し上げ要因となりました。

なお、急激な株価上昇や世界的な金利上昇に対する警戒感がある中で、株価のボラティリティが激しい展開は継続しています。

【図表1】日経平均とTOPIXの推移

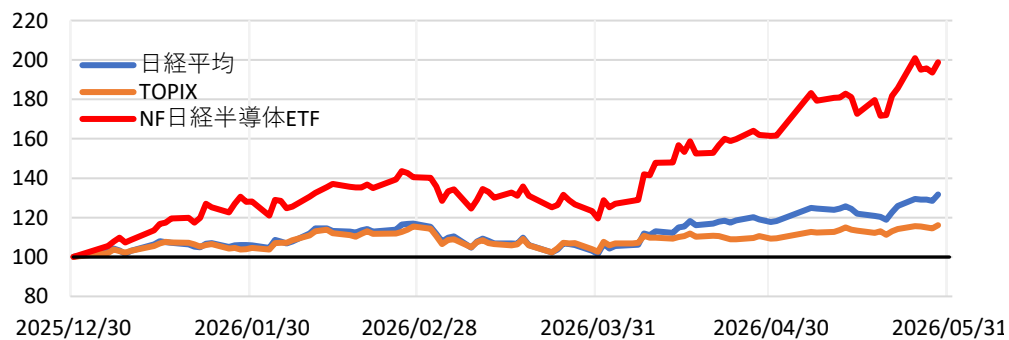


(出所) Bloombergより住友生命作成

### 日経平均とTOPIXの上昇率には大きな違い

4月以降の日経平均とTOPIXの上昇率を比較すると、日経平均の+19.5%に対し、TOPIXは+5.7%と限定的な上昇となっています(5月28日執筆時点)。これには、それぞれの指数に占める業種の割合が影響しています。最近の株価上昇は、業績の改善期待を背景としたものであり、その改善率の高い半導体関連をはじめとした情報技術セクターがけん引しました。結果として、その割合が高い日経平均がより大きく上昇しました。

【図表2】年初を100とした場合の推移



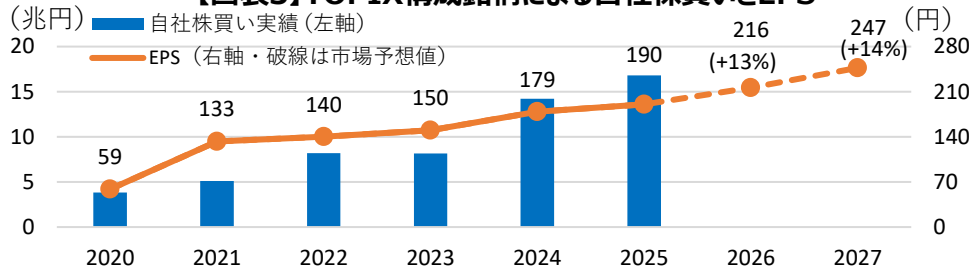
(出所) Bloombergより住友生命作成

## 国内株式の見通し

国内株式市場は、足元まで続いた半導体関連銘柄を中心とした急激な株高に加え、エネルギー価格急上昇を背景としたインフレ懸念等による金利上昇、さらには米中間選挙を前にした政局の不透明感などが上値を抑える要因となる可能性があります。

一方で、企業業績は2年連続で2桁前後のEPS（1株あたり利益）の伸びが見込まれることに加え、企業改革の進展や旺盛な自社株買い、高市政権による積極財政が追い風となり、株価は底堅い推移を想定します。当社では、2026年度末のTOPIXを4,200ptと見込みます。

【図表3】TOPIX構成銘柄による自社株買いとEPS



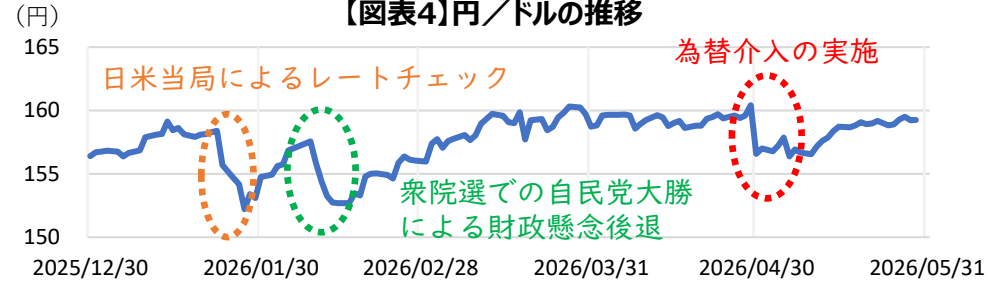
(出所) Bloombergより住友生命作成

## 2026年以降の円/ドルの動き

円/ドルは米国のイラン攻撃開始以降、原油価格の急上昇を背景に、世界最大の産油国の米国の通貨（米ドル）が対主要国通貨に対して上昇することで、円安ドル高が進みました。4月以降は、概ね158～160円でのレンジ推移となりましたが、4月28日の日銀金融政策決定会合にて政策金利が据え置かれると、円売りが強まり一時160円72銭と約9ヶ月ぶりの円安水準をつけました。その後、連休に入る4月30日から5月6日にかけては、断続的に為替介入が実施され、155円台前半まで円高が進みました。

しかし、為替介入後は円買いが持続せず、原油価格が高止まり、米国で利上げ織込みが進む中、5月下旬に円/ドルは159円前後まで円安ドル高が進みました。

【図表4】円/ドルの推移

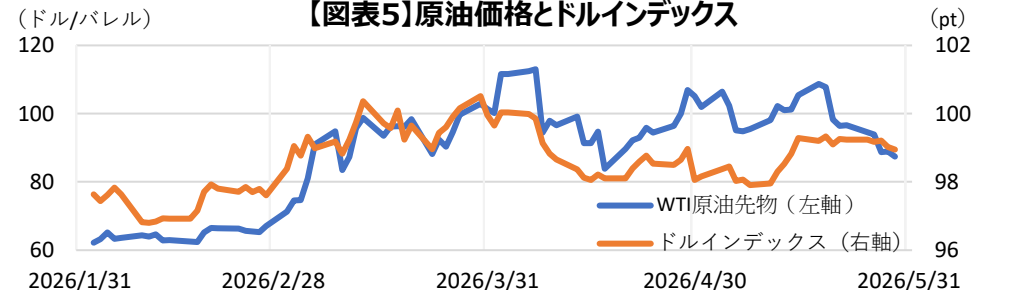


(出所) Bloombergより住友生命作成

## 円/ドルの見通し

足元では原油価格の高止まりにより、円安ドル高が進行していますが、中東情勢の緊張緩和とともに原油価格が緩やかに低下することを見込む中で、ドル高が是正されると想定します。また、日銀は段階的な利上げが見込まれる一方、米国は当面の政策金利据置きと将来的な利下げが見込まれており、金利差縮小等の影響から今後は緩やかな円高ドル安が進むと見込みます。加えて、過度な円安に対する日米当局からのけん制発言や、為替介入への警戒感から急激な円安ドル高の動きが進む可能性は低いと考えており、2026年度末の円/ドル着地を155円と想定します。

【図表5】原油価格とドルインデックス



(出所) Bloombergより住友生命作成

- ◆ 本資料はご契約者さまあてに情報提供することを目的に作成しているものであり、保険の募集を目的としているものではありません。商品のご検討にあたっては、当社作成のパンフレット等をご覧ください。
- ◆ 本資料に記載のインデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、当該インデックスの公表元またはその許諾者に帰属します。なお、当該インデックスの公表元またはその許諾者は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該インデックスを用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- ◆ 本資料に掲載の見通し等は現時点のものであり、将来を保障するものではありません。また、今後予告なく見直すことがあります。

あなたの未来を強くする



(住友生命保険相互会社)

東京本社 〒104-8430 東京都中央区八重洲2-2-1

電話 (03)6664-8650 (年金事業室)

〈ホームページ〉 <https://www.sumitomolife.co.jp>